

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、令和6年3月末現在で95.4%（総人口5,091千人に対して給水人口4,855千人）となっており、未給水人口は235千人となっています。

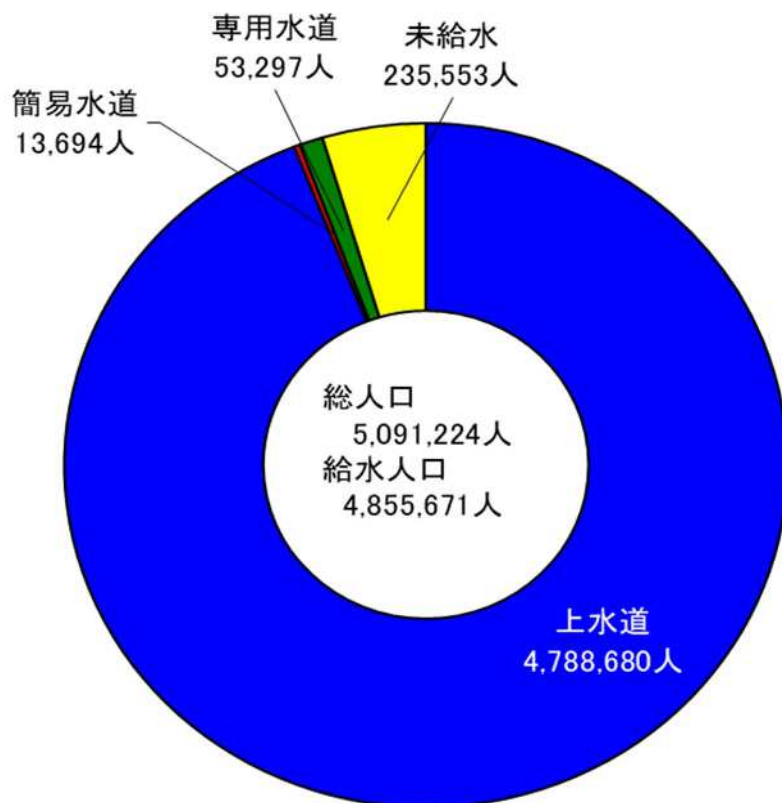
広域圏別の水道普及率は、福岡地区と筑豊地区がいずれも96.9%と最も高く、次いで北九州地区が96.8%、筑後地区が88.0%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,788千人（98.6%）と大部分を占めており、次いで専用水道が53千人（1.1%）、簡易水道が13千人（0.3%）となっています。

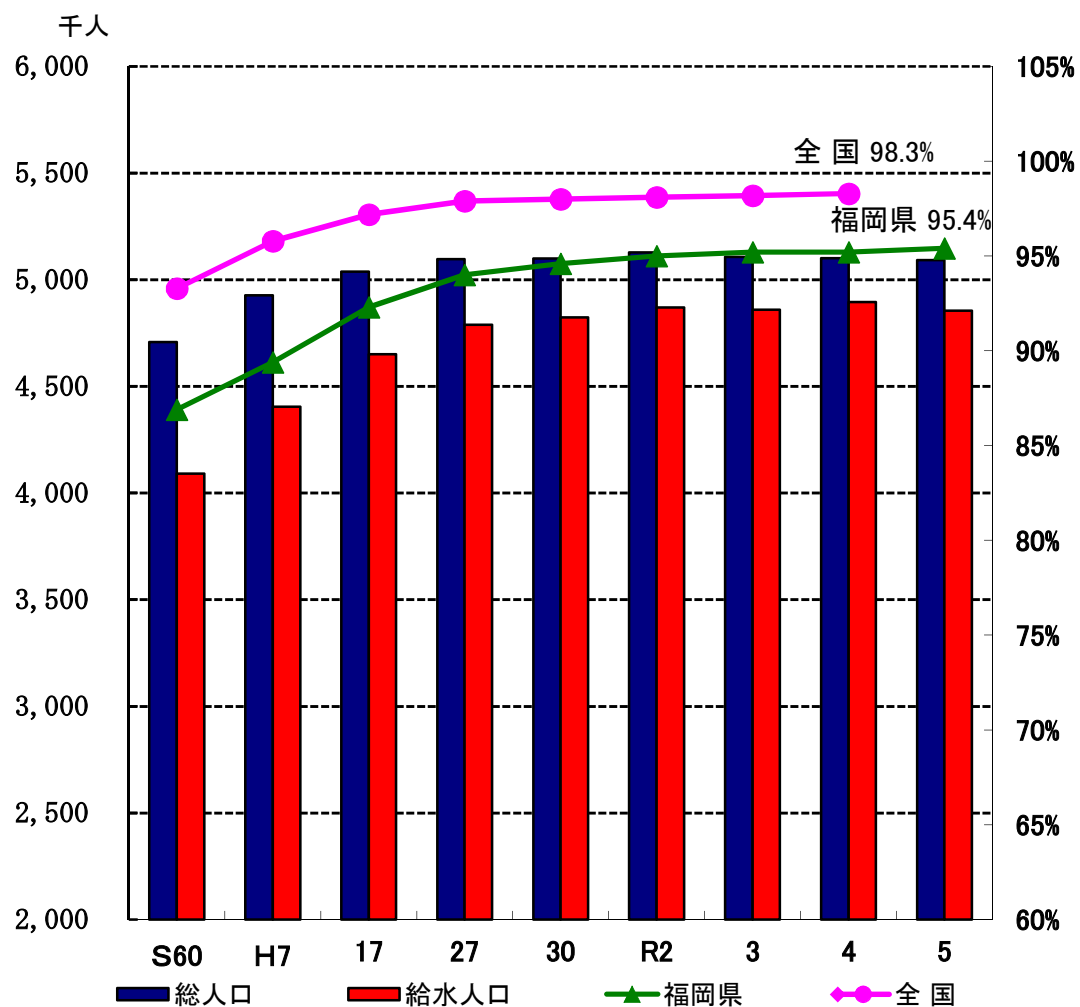
◎ 現在給水人口と普及率（令和6年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口(人)				未給水人口 (人)	普及率
			上水道	簡易水道	専用水道		
福 岡	2,642,999	2,560,654	2,536,546	1,233	22,875	82,345	96.9%
北九州	1,216,041	1,176,908	1,168,413	4,048	4,447	39,133	96.8%
筑 後	851,511	749,193	725,106	2,557	21,530	102,318	88.0%
筑 豊	380,673	368,916	358,615	5,856	4,445	11,757	96.9%
県 計	5,091,224	4,855,671	4,788,680	13,694	53,297	235,553	95.4%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



		S60	H7	17	27	30	R2	3	4	5
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.3%	94%	94.6%	95%	95.2%	95.2%	95.4%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.9%	98%	98.1%	98.2%	98.3%	未公表

※ 本資料作成時点で、全国の令和5年度値は未公表

2 給水の状況

(1) 年間給水量

令和 5 年度の年間給水量は 488,723 千 m^3 となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.7%)。なお、年間給水量は前年度から 121 千 m^3 減少しています。

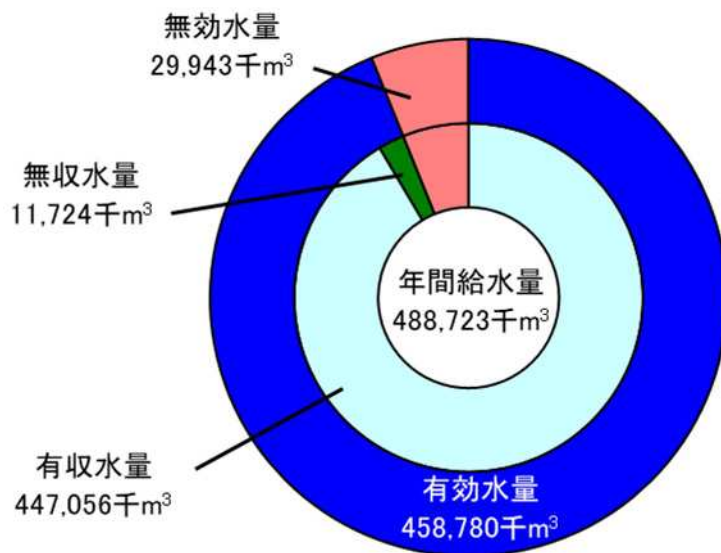
また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 93.9%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位:千 m^3)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	238,037	230,650	226,464	4,186	7,387	96.9%	95.1%
	北九州	129,982	119,991	116,741	3,250	9,991	92.3%	89.8%
	筑後	73,376	69,051	65,922	3,129	4,325	94.1%	89.8%
	筑豊	45,743	37,887	36,754	1,133	7,856	82.8%	80.3%
	計	487,138	457,579	445,881	11,698	29,559	93.9%	91.5%
簡易水道	福岡	156	117	115	2	39	75.0%	73.7%
	北九州	265	249	244	5	16	94.0%	92.1%
	筑後	420	280	269	11	140	66.7%	64.0%
	筑豊	744	555	547	8	189	74.6%	73.5%
	計	1,585	1,201	1,175	26	384	75.8%	74.1%
合 計		488,723	458,780	447,056	11,724	29,943	93.9%	91.5%

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない。



- 年 間 給 水 量 : 水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量(有効水量+無効水量)
- 有 効 水 量 : 水道の使用上有効とされた水量(有収水量+無収水量)
- 有 収 水 量 : 料金徴収の対象となった水量
- 無 収 水 量 : 料金徴収の対象とならなかった水量(管洗浄用水、メータ不感水量等)
- 無 効 水 量 : 水道の使用上無効とされた水量(配水管からの漏水等)

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 356,443 千 m³、業務・営業用が 67,212 千 m³、工場用が 11,015 千 m³、その他が 10,930 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	186,665	38,405	549	527	226,146
北九州	93,614	18,558	3,885	684	116,741
筑後	53,446	6,910	4,795	808	65,959
筑豊	22,718	3,339	1,786	8,911	36,754
計	356,443	67,212	11,015	10,930	445,600
構成比率	80.0%	15.1%	2.5%	2.5%	100.0%

※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署用、学校用、病院用、事務所用、営業用、公衆浴場用等

工場用：工場用

その他：上記用途以外のもの



(3) 平均給水量、最大給水量

令和5年度における一日平均給水量は1,339千 m^3 、一日最大給水量は1,512千 m^3 となっています。

一人一日当たりでは平均給水量が279リットル、最大給水量が315リットルとなっており、広域圏別にみると、筑豊地区が最も多く、次いで北九州地区、筑後地区、福岡地区の順となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m^3)	一人一日 (リットル)	日最大 (m^3)	一人一日 (リットル)
福岡	上水道	652,156	257	711,167	280
	簡易水道	427	346	727	590
	計	652,583	257	711,894	281
北九州	上水道	356,115	305	391,913	335
	簡易水道	726	179	1,392	344
	計	356,841	304	393,305	335
筑後	上水道	201,030	277	228,298	315
	簡易水道	1,150	450	1,642	642
	計	202,180	278	229,940	316
筑豊	上水道	125,323	349	174,013	485
	簡易水道	2,040	348	2,885	493
	計	127,363	349	176,898	485
県計	上水道	1,334,625	279	1,505,391	315
	簡易水道	4,343	317	6,646	485
	計	1,338,968	279	1,512,037	315
全国	上水道	-	328	-	377

※本資料作成時点で全国の令和5年度値が未公表のため、前年度(令和4年度)値を掲載

○ 平均給水量

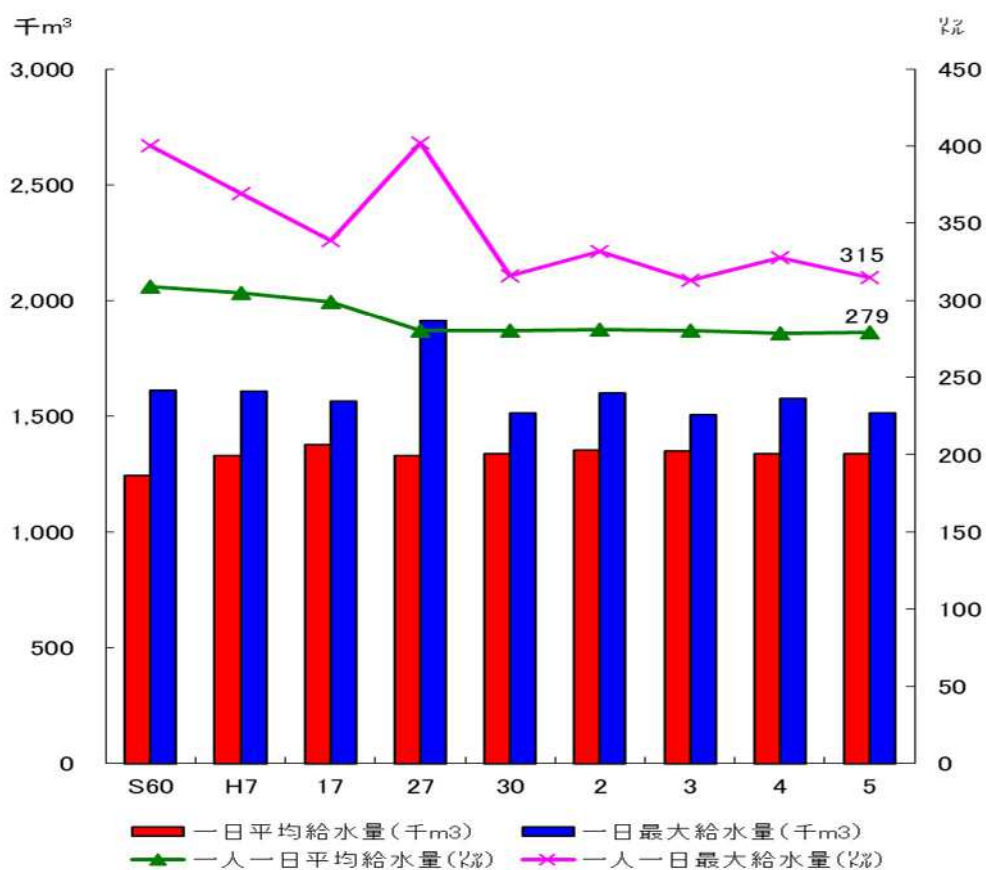
- ・ 日平均：年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一人一日：日平均給水量 ÷ 給水人口

○ 最大給水量

- ・ 日最大：水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日：日最大給水量 ÷ 給水人口

一日最大給水量、一人一日最大給水量は、平成28年1月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で一時的に増加した平成27年度を除き、ほぼ横ばいで推移しています。一日平均給水量・一人一日平均給水量については、近年、ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



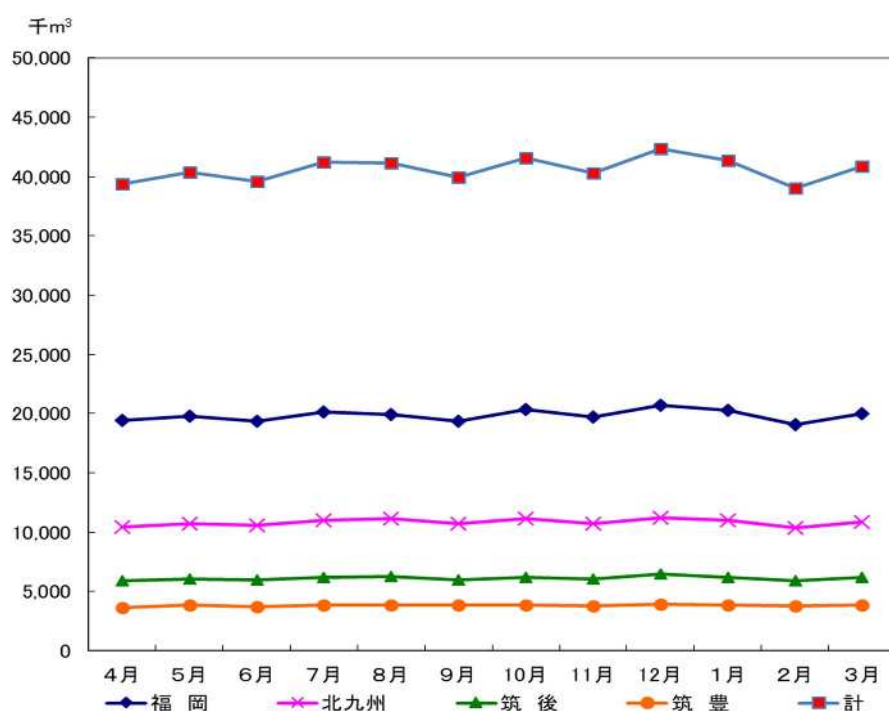
区 分 \ 年 度	S60	H7	17	27	30	2	3	4	5
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,331	1,339	1,352	1,347	1,339	1,339
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,912	1,512	1,598	1,506	1,577	1,512
一人一日平均給水量(リットル)	309	305	299	280	280	281	280	279	279
一人一日最大給水量(リットル)	400	369	339	402	316	332	313	328	315

(4) 月別給水量

令和5年度の上水道事業における月別給水量の最大値は12月の42,323千 m^3 であり、最小値は2月の39,054千 m^3 となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は12月の20,697千 m^3 、最小値は2月の19,054千 m^3 、北九州地区の最大値は12月の11,229千 m^3 、最小値は2月の10,330千 m^3 、筑後地区の最大値は12月の6,462千 m^3 、最小値は4月の5,895千 m^3 、筑豊地区の最大値は12月の3,935千 m^3 、最小値は4月の3,643千 m^3 となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



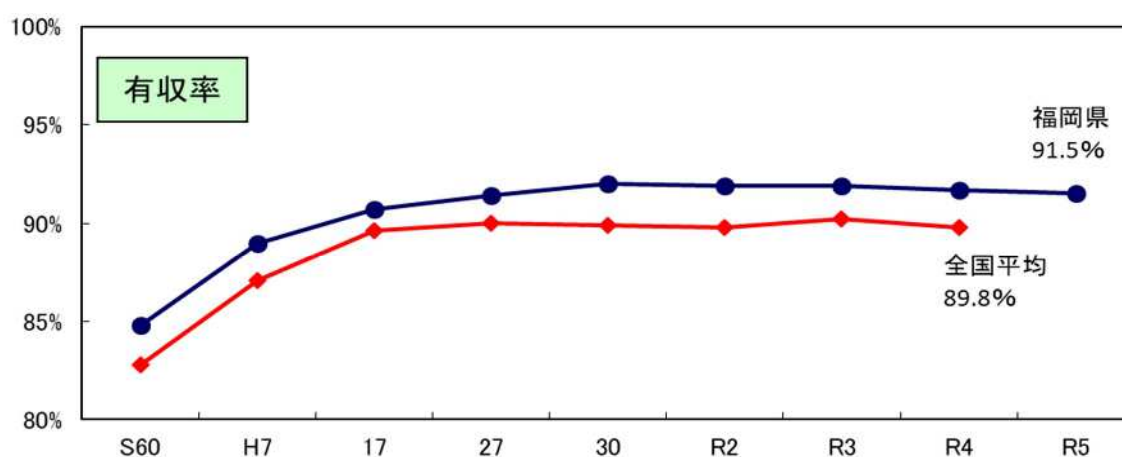
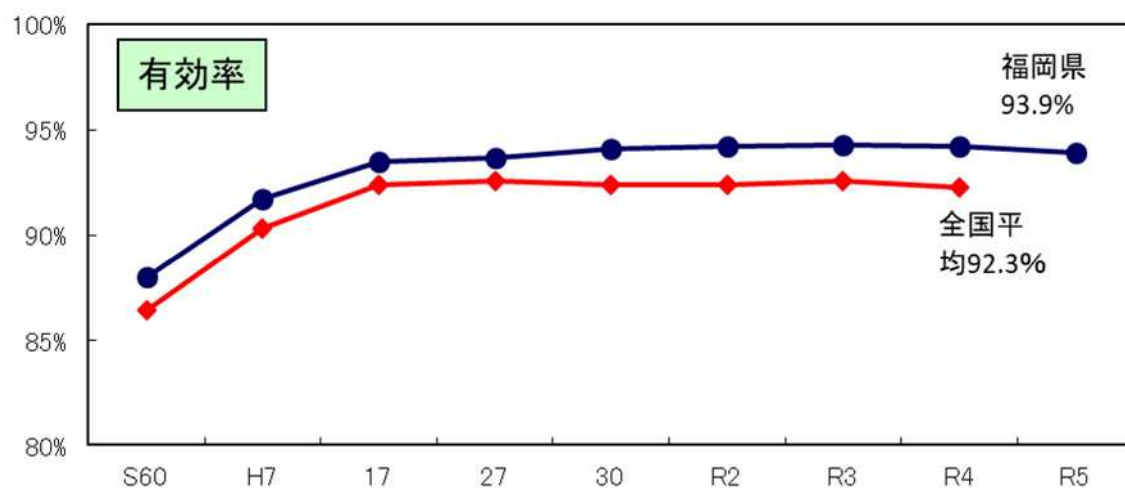
(単位: 千 m^3)

広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	19,395	19,781	19,340	20,145	19,918	19,362	20,315	19,730	20,697	20,299	19,054	20,017	238,053
北九州	10,464	10,721	10,566	11,022	11,170	10,751	11,146	10,746	11,229	11,014	10,330	10,823	129,982
筑後	5,895	6,058	5,969	6,202	6,244	5,996	6,211	6,028	6,462	6,209	5,897	6,205	73,376
筑豊	3,643	3,830	3,697	3,876	3,829	3,842	3,878	3,789	3,935	3,820	3,773	3,831	45,743
計	39,397	40,390	39,572	41,245	41,161	39,951	41,550	40,293	42,323	41,342	39,054	40,876	487,154

(5) 有効率、有収率

上水道事業における令和5年度の有効率は93.9%、有収率は91.5%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	27	30	R2	R3	R4	R5
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	93.7%	94.1%	94.2%	94.3%	94.2%	93.9%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.6%	92.4%	92.4%	92.6%	92.3%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.4%	92.0%	91.9%	91.9%	91.7%	91.5%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	90.0%	89.9%	89.8%	90.2%	89.8%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度

有効に使用されているかを示す指標

○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度

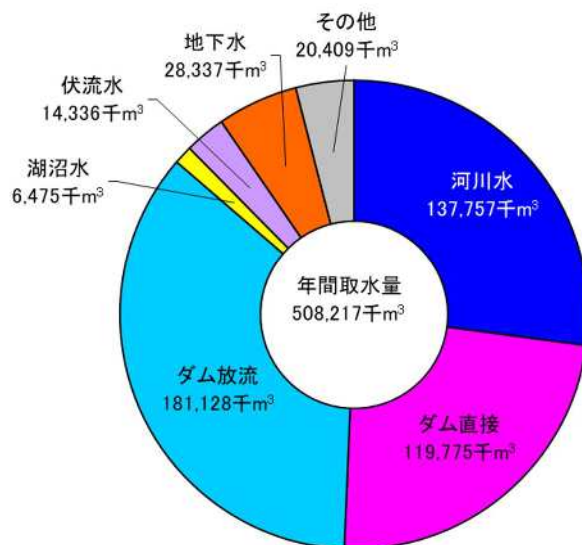
収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の令和5年度の値は未公表

3 取水の状況

令和 5 年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて 508,217 千 m³ で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(87.5%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位: 千 m³)

年 度	S60	H7	17	27	30	2	3	4	5
河 川 水	116,791	163,039	129,617	111,554	129,956	132,932	130,636	142,193	137,757
ダム 直 接	131,761	113,409	109,365	137,185	116,547	129,651	121,218	107,018	119,775
ダム 放 流	134,891	120,667	165,716	172,500	185,484	183,607	186,128	189,340	181,128
湖 沼 水	5,537	7,981	9,327	6,599	7,377	7,070	7,289	6,452	6,475
伏 流 水	22,736	24,389	31,518	15,968	18,743	12,844	13,985	13,463	14,336
地 下 水	47,998	56,701	49,135	35,865	32,091	30,149	30,042	29,534	28,337
そ の 他	1,003	1,429	24,138	15,476	13,295	14,702	17,153	15,319	20,409
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(14,809)	(12,728)	(14,074)	(16,531)	(14,684)	(19,908)
計	460,717	487,615	518,816	495,147	503,493	510,955	506,451	503,319	508,217

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

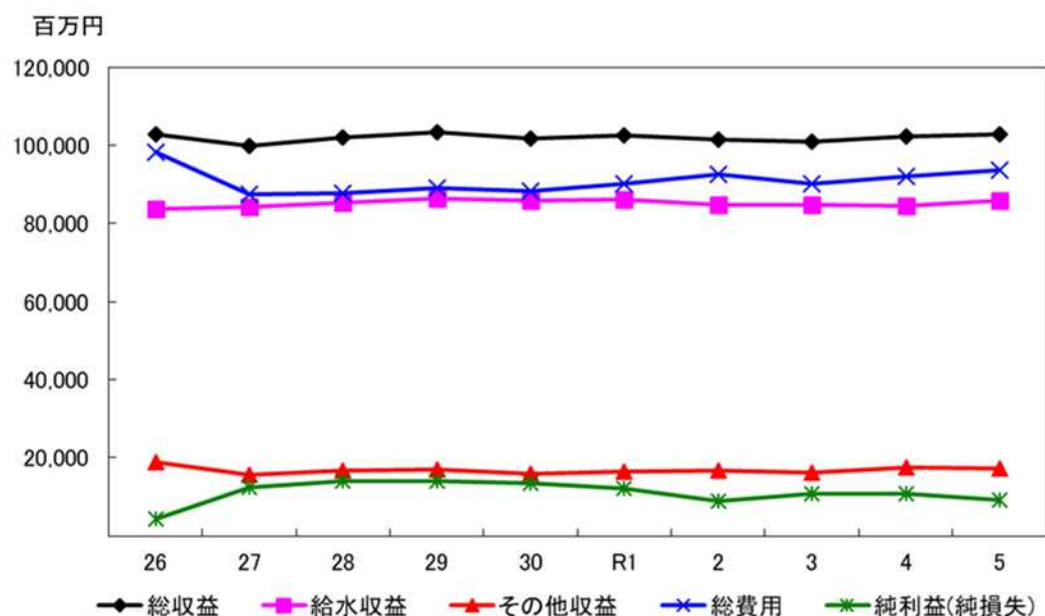
令和5年度における上水道事業の総収益は1,029億円となっており、前年度から6億円増加しています。また、総費用は938億円となっており、前年度から16億円増加しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は92億円となっており、前年度から9億円減少しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	総収益 (A)		総費用 (B)	純利益(純損失) (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
26	102,737	83,752	18,985	98,337
27	99,874	84,341	15,534	87,490
28	101,890	85,209	16,681	87,866
29	103,221	86,379	16,842	89,173
30	101,855	85,859	15,996	88,330
R1	102,511	86,152	16,359	90,259
2	101,575	84,791	16,785	92,656
3	101,065	84,824	16,241	90,267
4	102,252	84,616	17,636	92,176
5	102,938	85,919	17,255	93,782



(2) 費用構成

令和 5 年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費が約半分のを占めています。

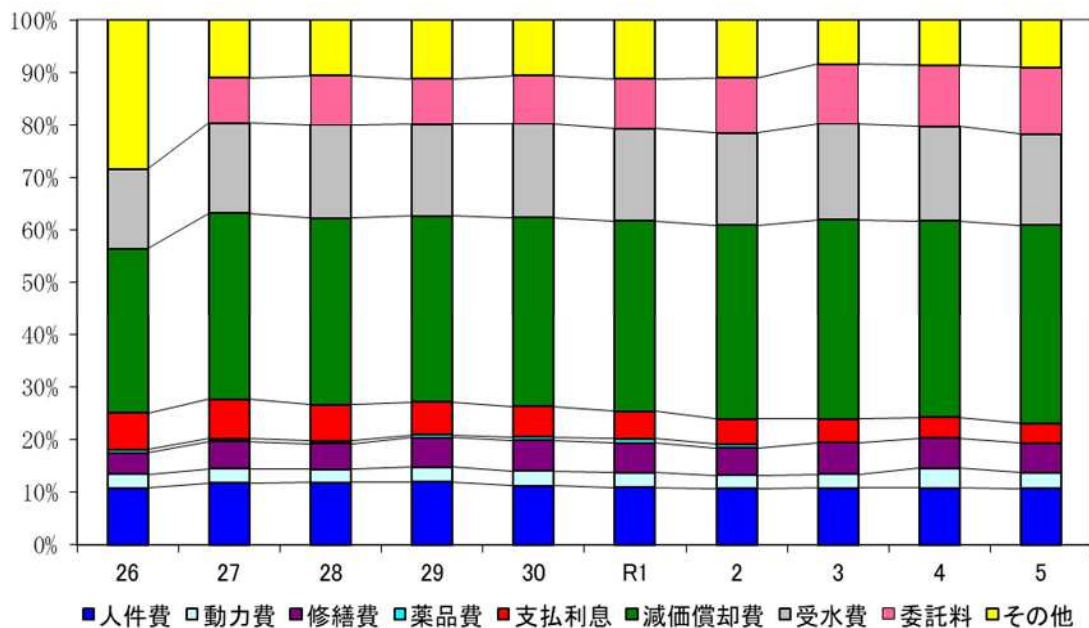
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5
人件費	10,572 (10.8%)	10,162 (11.7%)	10,349 (11.9%)	10,581 (12.0%)	9,817 (11.2%)	9,853 (11.0%)	9,900 (10.7%)	9,637 (10.7%)	9,795 (10.7%)	9,853 (10.6%)
動力費	2,516 (2.6%)	2,373 (2.7%)	2,226 (2.6%)	2,451 (2.8%)	2,493 (2.8%)	2,524 (2.8%)	2,304 (2.5%)	2,363 (2.6%)	3,405 (3.7%)	2,809 (3.0%)
修繕費	4,029 (4.1%)	4,460 (5.2%)	4,223 (4.8%)	4,968 (5.6%)	5,088 (5.8%)	5,015 (5.6%)	4,829 (5.2%)	5,334 (5.9%)	5,162 (5.6%)	5,138 (5.5%)
薬品費	565 (0.6%)	507 (0.6%)	477 (0.5%)	542 (0.6%)	589 (0.7%)	721 (0.8%)	642 (0.7%)	699 (0.8%)	920 (1.0%)	999 (1.1%)
支払利息	6,832 (7.0%)	6,423 (7.4%)	5,950 (6.8%)	5,481 (6.2%)	5,040 (5.8%)	4,677 (5.2%)	4,398 (4.8%)	4,002 (4.5%)	3,656 (4.0%)	3,464 (3.7%)
減価償却費	30,585 (31.3%)	30,728 (35.5%)	31,075 (35.6%)	31,360 (35.5%)	31,503 (36.0%)	32,598 (36.3%)	34,009 (36.9%)	33,799 (37.7%)	33,853 (37.0%)	34,876 (37.4%)
受水費	14,846 (15.2%)	14,880 (17.2%)	15,457 (17.7%)	15,477 (17.5%)	15,640 (17.9%)	15,686 (17.5%)	16,235 (17.6%)	16,316 (18.2%)	16,348 (17.9%)	16,008 (17.2%)
委託料		7,462 (8.6%)	8,196 (9.4%)	7,577 (8.6%)	8,049 (9.2%)	8,546 (9.5%)	9,718 (10.5%)	10,070 (11.2%)	10,595 (11.6%)	11,645 (12.5%)
その他	27,773 (28.4%)	9,557 (11.0%)	9,245 (10.6%)	9,974 (11.3%)	9,289 (10.6%)	10,078 (11.2%)	10,135 (11.0%)	7,540 (8.4%)	7,803 (8.5%)	8,350 (9.0%)
計	97,718 (100.0%)	86,552 (100.0%)	87,199 (100.0%)	88,410 (100.0%)	87,508 (100.0%)	89,698 (100.0%)	92,170 (100.0%)	89,761 (100.0%)	91,537 (100.0%)	93,142 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

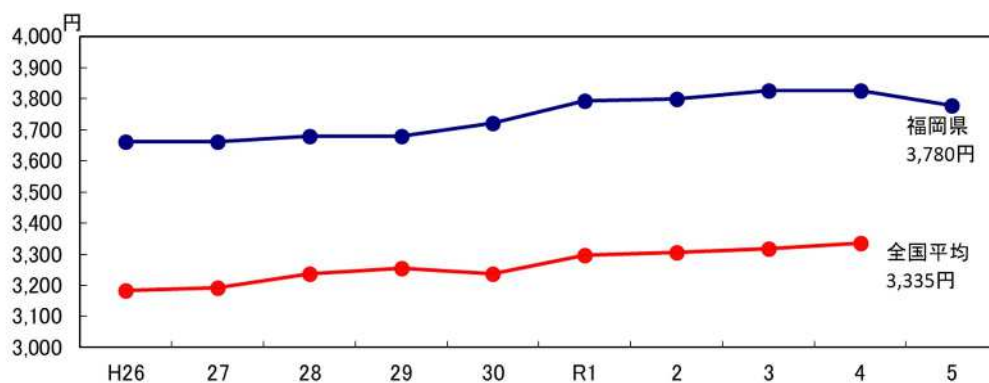
令和6年3月末現在における家庭用1ヶ月20 m³の水を使用した際の料金に対する事業数の分布は下記の表のとおりです。また、県平均の水道料金は3,780円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20 m³当たりの水道料金（上水道）

（令和6年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	2
2,500円以上～3,000円未満	4
3,000円以上～3,500円未満	6
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	13
4,500円以上	4

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20 m³当たり）



（単位：円）

年 度	H26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5
福 岡 県	3,661	3,663	3,681	3,681	3,722	3,792	3,799	3,827	3,827	3,780
全国平均	3,183	3,192	3,236	3,254	3,236	3,298	3,306	3,317	3,335	未公表

※ 基礎料金・メーター使用料を含む

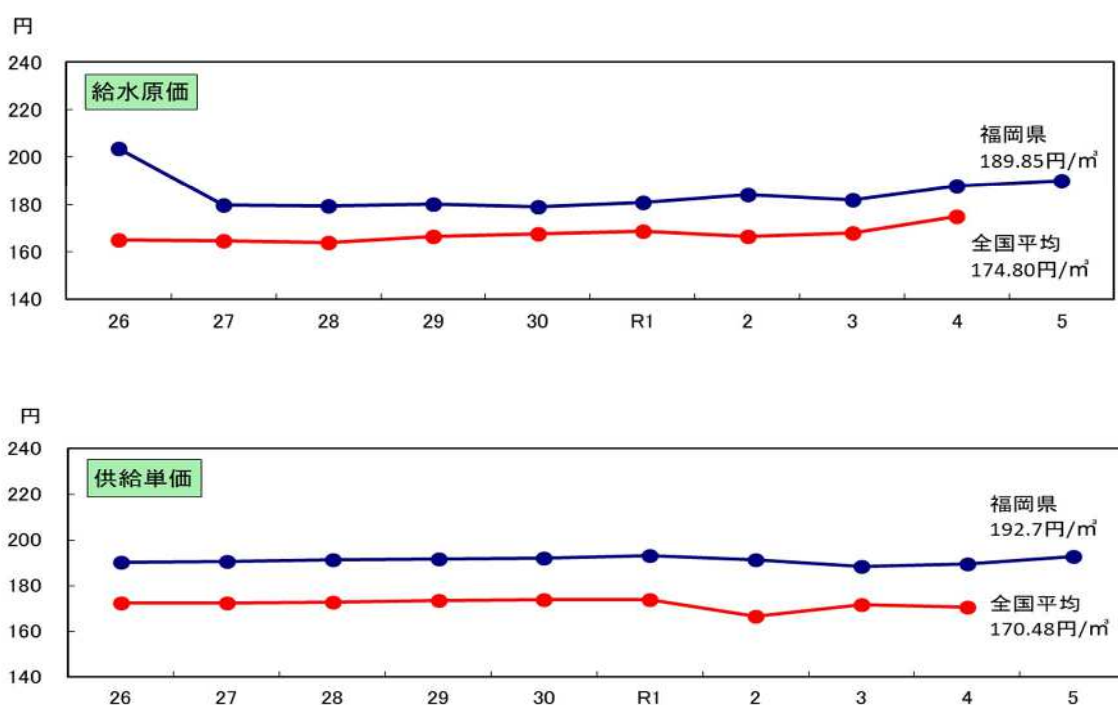
※ 本資料作成時点で、全国の令和5年度値は未公表

6 給水原価と供給単価（上水道）

令和 5 年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 189.85 円/m³ 及び 192.7 円/m³ となっています。

また、いずれも全国平均を上回って推移し、近年は横ばい傾向を示しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位:円/m³)

年 度		26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5
給水原価	福岡県	203.39	179.74	179.17	180.20	179.06	180.90	183.91	182.02	187.62	189.85
	全国平均	165.13	164.40	163.85	166.41	167.70	168.58	166.47	167.79	174.80	未公表
供給単価	福岡県	190.32	190.64	191.25	191.83	191.94	193.08	191.41	188.43	189.41	192.70
	全国平均	172.34	172.47	172.80	173.33	173.99	174.01	166.64	171.85	170.48	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の令和 5 年度の値は未公表